

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2023年度 パフォーマンス向上会議情報(2023年5月16日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2023年5月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【濃縮廃液の貯蔵容量の報告誤りについて】 当社社員が、「高濃度滞留水処理・貯蔵状況 第599報」の作成時に、「高濃度滞留水処理・貯蔵状況 第598報」(ホームページで公開されている)で報告されている濃縮廃液の貯蔵容量の誤りを確認。 原因は、第598報から貯蔵容量の集計において、集計表に新設タンクの欄を追加したものの、集計範囲を変更していなかったことによるもの。 なお、実際の貯蔵容量の管理状況に誤りはなく、濃縮廃液の貯蔵状況に影響なし。 当該第598報の濃縮廃液の貯蔵容量は訂正済み。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	5月10日
2	<p>【H4タンクエリアA5タンク水位計の故障について】 当社運転員が、免振重要棟集中監視室の監視盤において、H4タンクエリアA5タンク水位計の指示がふらついていることを確認。 当該水位計を初期状態に戻し計測するも、ふらつきが解消しなかったことから、水位計の故障と判断。 隣接タンクとの連結弁を開き、隣接タンクの水位が変動しないことで当該タンクの水位が変動していないことを確認できているため、水位の監視に影響はなし。 また、当該タンク廻りにおける漏えいがないことを確認。 今後、当該水位計を交換予定。</p>	G III	5月14日